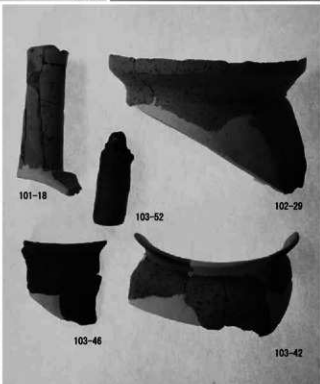
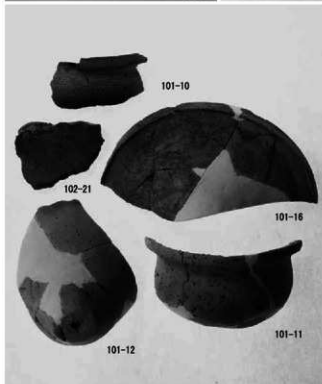
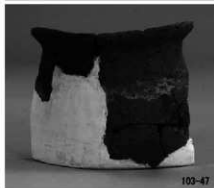
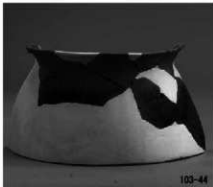
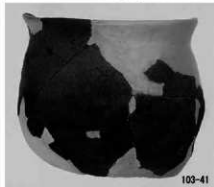
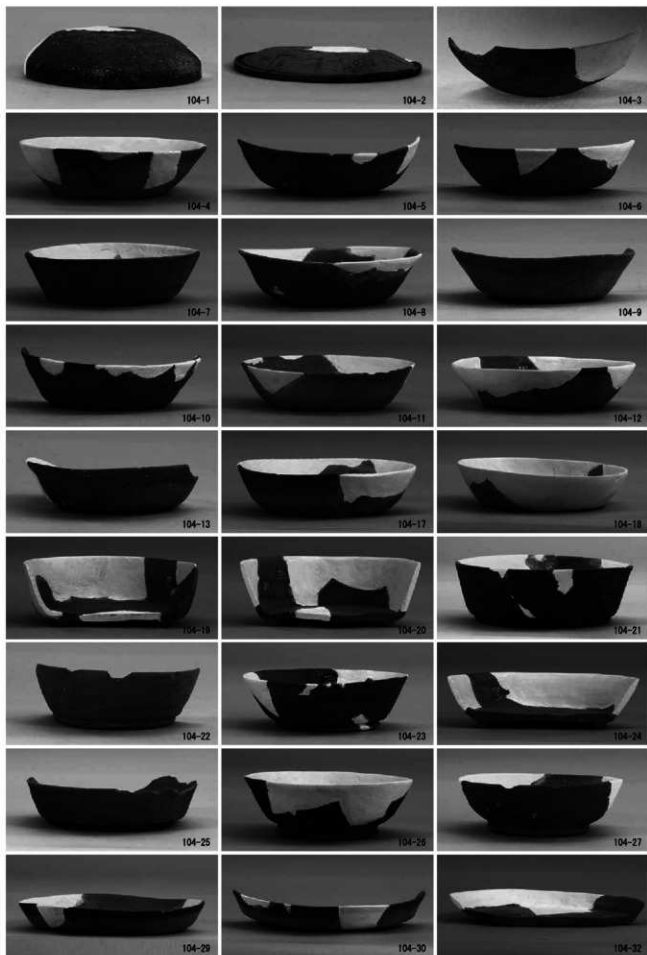
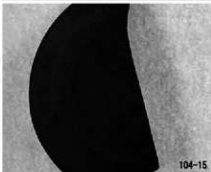
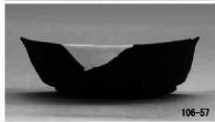
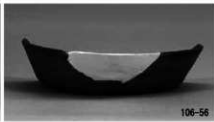
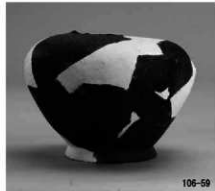
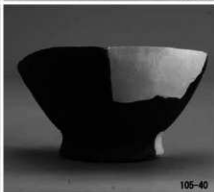
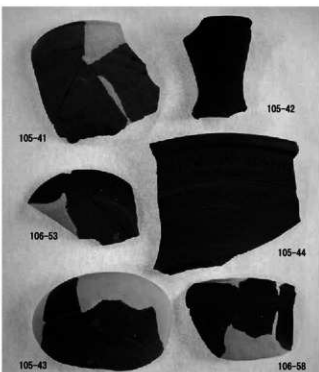
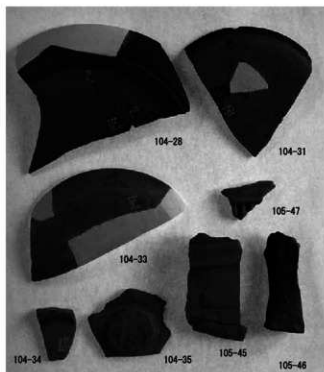


図版第七〇 遺物 弥生土器・土師器他 (二三)









報告書抄録

ふりがな	おおた・こやといせき							
書名	太田・小矢戸遺跡							
副書名	中部縦貫自動車道建設事業に伴う調査16							
巻次								
シリーズ名	福井県埋蔵文化財調査報告							
シリーズ番号	第155集							
編著者名	田中勝之・赤澤徳明・富山正明・中島啓太・宮崎認							
編集機関	福井県教育庁埋蔵文化財調査センター							
所在地	〒910-2152 福井県福井市安波賀町4-10 TEL. 0776-41-3644							
発行年月日	西暦2015年3月13日							
ふりがな	ふりがな	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
		所在地	市町村	遺跡番号	° / ′ ″			
所収遺跡名	所在地	市町村	遺跡番号	° / ′ ″	° / ′ ″	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
おおた・ 太田・ こやと 小矢戸 いせき 遺跡	ふくいけん 福井県 おおのし 大野市 おおた・ 太田・ こやと 小矢戸	18205	05004	36° 00′ 30″	136° 29′ 46″	20071001 ～ 20101228	17,300	記録保存 調査
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
太田・ 小矢戸遺跡	集落	縄文時代		縄文土器・有茎尖頭器		古代では、多数の掘立柱建物や大形の井戸等が検出された。掘立柱建物は、大半が棟の方向をそろえ、整然と列状に群在していた。大形の井戸は、井戸側下部に上下2段の横板組をもつ構造である。また、多量の墨書土器、稀少な緑釉陶器や権状鏝、瓦塔、石製巡方が出土した。		
		弥生時代	溝・土坑・旧河道	弥生土器・石庖丁				
		古墳時代		須恵器・土師器				
		奈良時代	掘立柱建物	須恵器・土師器・瓦塔				
		平安時代	柵列・溝・井戸	墨書土器・緑釉陶器				
			土坑・土器溜り 旧河道	灰軸陶器・赤彩土師器 権状鏝・石製巡方				
鎌倉時代	掘立柱建物	土師質土器・越前焼						
室町時代	溝・井戸・土坑 土器溜り	常滑焼・古瀬戸製品 石製品・銭貨						
要約	<p>縄文時代では、有茎尖頭器が3点出土し、大野市史が草創期まで遡る発見となった。</p> <p>弥生時代では、旧河道から後期を主体とする土器や打製石斧等が多量に出土した。</p> <p>古代では、掘立柱建物や柵列、井戸、土坑、土器溜り、旧河道等が多数検出された。旧河道間の微高地上で集落が計画的に営まれていたと考えられ、本遺跡は古代における大野郡資母郷の中心的な集落であったと推察される。</p> <p>中世では、掘立柱建物や溝、井戸、土坑、土器溜り等が多数検出された。溝に区画された屋敷地が複数存在し、有力者層が居住した集落であったとも考えられる。</p>							

福井県埋蔵文化財調査報告 第155集

太田・小矢戸遺跡

—中部縦貫自動車道建設事業に伴う調査 16—

平成27年3月6日 印刷

平成27年3月13日 発行

発行 福井県教育庁埋蔵文化財調査センター

〒910-2152 福井市安波賀4-10

印刷 小川印刷株式会社

〒910-0836 福井市大和田1丁目213番地
